

第30回駐日外交団の地方視察ツアー(静岡県)

平成30年11月
地方連携推進室

平成30年11月12日から13日まで、外務省と静岡県観光協会との共催で、駐日外交団を対象とした地方視察ツアーを実施し、駐日外交団よりギリシア、スロバキア、EU、ハンガリーの3か国1機関6名の大使、参事官等が参加しました。

静岡県には、2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の会場である伊豆ベロドロームがあります。この機会に外交団に同地でのサイクルスポーツへの取組を視察するとともに、特色ある産業、観光、歴史、文化について、理解を深めてもらいました。また、伊豆市長、熱海市長とそれぞれ、海外への魅力発信について意見交換を行いました。

1 新丸正(焼津市)

焼津市の新丸正では、伝統的な製法を伝承しつつ、鰹節・削り節の製造を行っています。同社は、製品がEU基準に適合し、必要な認証を得られるよう、鰹節製造技術を開発するとともに施設を整備しました。その結果、平成29年6月にEU向けに全国で初めて鰹節を輸出しました。

外交団は、熟練の職人が3本の特殊包丁で鰹をさばく工程からはじまり、ボイル、骨抜き、焙乾といった一つ一つの製造過程を見学しました。特に、薪を使って、鰹をいぶす様子は圧巻です。工場見学の後は、異なる材料の削り節やだし汁のテイスティングを行い、味の違いを比較しつつ、うまみと香りのハーモニーを楽しむとともに、和食の基礎となる“だし”についての理解を深めました。

2 昇利(焼津市)

外交団は、寿司店の昇利において、職人の指導のもと、握り寿司の体験をしました。熟練の職人の手から、あっという間につくられる寿司を見本に、見よう見まねでの挑戦でしたが、中には初めての体験とは思えないほど、器用に握る参加者もいらっしゃいました。

3 ガイアフロー静岡蒸留所(静岡市)

同蒸留所は、すべての原材料を静岡産でまかなう静岡初の



鰹節の伝統的製法を視察



にぎり寿司の体験



ウイスキーの蒸留過程を視察



木製走路を有するベロドローム

クラフトウスキーの蒸留所です。外交団は、緑豊かな自然の中で生まれる個性豊かなウスキーの製造過程を見学しました。

4 船原館(伊豆市)

この日の夕食は、日本ならではの囲炉裏を囲んでの食事です。外交団は、囲炉裏で煮た猪鍋に舌鼓を打ちつつ、地場でとれる鮎や椎茸など、野趣あふれる山の幸を堪能しました。

5 伊豆ベロドローム(伊豆市)

伊豆ベロドロームは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの自転車トラック競技の会場です。1周250メートル、最大傾斜45°の木製走路の競技場では、視察当日は日本自転車競技連盟の中距離選手が練習をしており、外交団一行は選手団やコーチと交流する機会を得ることができました。

6 MOA 美術館(熱海市)

MOA 美術館は、熱海市の高台にある、日本美術を中心としたコレクションを有する美術館です。ゆとりある展示室で、仁清の色絵藤花文茶壺や、特別展「人間国宝展」などを鑑賞するとともに、館内の茶室において茶道の体験をし、日本の美を体感しました。

7 旧日向別邸(熱海市)

旧日向別邸は、その一部をドイツ人建築家のブルーノ・タウトが設計しており、タウトが日本に残した唯一の建築物です。和洋折衷のデザインや大胆な色使いなど、タウトならではの建築美を味わいました。

【プログラム・訪問先】

11月12日(月) ○新丸正
○昇利
○ガイアフロア静岡蒸留所
○船原館

11月13日(火) ○伊豆ベロドローム
○MOA 美術館
○旧日向別邸



中距離選手団コーチとの歓談



MOA 美術館より相模灘を臨む



MOA 美術館で茶の湯の体験



ブルーノ・タウトの建築を見学